

自立支援事業実施状況からの現状と課題

NEXTEP主催の相談会について  
募集しても申し込みがない

各保健所で自立支援事業を  
実施しているが  
内容に差がある

＜要因＞

- ・相談したいが遠方に行くことが  
難しい方がいるのではないかと

＜要因＞

- ・自立支援員の資質向上のための  
人材育成や地域関係機関との役割分  
担のための機会が不十分なのではな  
いか。
- ・地域資源を把握する機会が不十分で、  
関係機関との連携や支援体制につい  
て十分な検討ができないのではないかと。

実態把握調査より得られた課題

< 保健所やNEXTEPの  
相談窓口を知っていますか >

- ・医療的ケア・障害あり  
知らない(71.3%)
- ・医療的ケア・障害なし  
知らない(85.4%)

< 自立支援事業の  
説明を受けたか >

わからない/覚えていない  
(59.3%)

<災害時に備えていること>

1.備えていない

(41.5%)

2.防災バッグ

(36.3%)

保健所やNEXTEPの  
窓口を知らない人が  
多い

自立支援事業の  
認知度・利用率が低い

災害に関して  
自身の疾患に関する  
準備が不十分

## 令和8年度の自立支援事業の概要

### 熊本県ホームページの更新(自立支援事業の周知)

本人及び保護者向けの内容と医療機関等関係機関向けの内容を分けて掲載し、自立支援事業の内容を詳細に周知する。

### 自立支援事業を活用した利用者へのアンケートを実施

NEXTEPや保健所の相談や交流会を利用した方に対してアンケートを実施し、どのような方法で相談につながったか、利用してみてどうだったかを調査する。

### 支援の幅を広げるため出張での相談会を実施

NEXTEPの相談事業において、出張相談を実施する。

### 市町村における個別避難計画策定を支援

災害時の体制強化に向けて、各保健所において市町村の個別避難支援計画策定を支援する。

### 自立支援事業についての研修の実施

各保健所の自立支援員の資質向上を図るため、研修会を継続して実施する。

※R8年度の事業については、現段階ではあくまで予定となります。状況次第で変更となる場合があります。